

2025 年 9 月 1 日
NTT アノードエナジー株式会社

石川津幡蓄電所の商用運転を開始

NTT アノードエナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岸本 照之、以下、NTT アノードエナジー）は、北陸電力管内において系統用蓄電所（以下、蓄電所）「石川津幡蓄電所（石川県河北郡津幡町）」を建設し、2025 年 9 月から商用運転を開始しました。

概要

カーボンニュートラル実現という社会課題に取り組むためには、再生可能エネルギーの導入拡大と有効活用が必要不可欠であり、同時に電力需給の安定化も重要な課題となっています。再生可能エネルギーの発電量は気象条件に依存して変動するため、電力系統の周波数や電圧を一定に保つための調整力が求められます。これまでは主に火力発電所がこの役割を果たしてきましたが、脱炭素化を加速するために、今後は調整力としての蓄電池の普及拡大が見込まれています。

石川津幡蓄電所は、NTT アノードエナジーとして商用運転を開始した 7 システム目の蓄電所であり、NTT アノードエナジーがアグリゲーターとして各種電力市場（卸電力市場、需給調整市場、容量市場）での最適取引や充放電制御をはじめ蓄電所の保守監視を一元的におこないます。

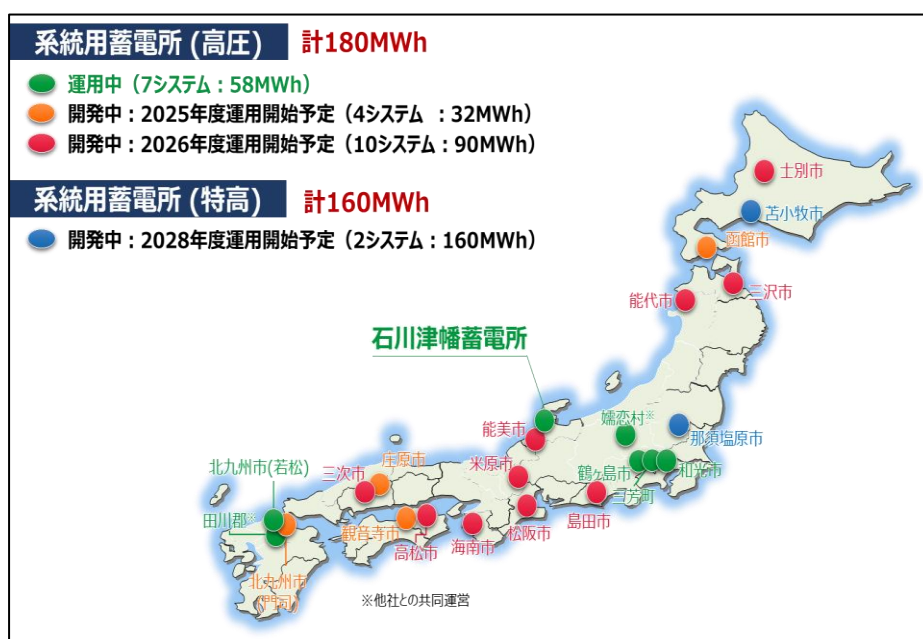
本蓄電所は、資源エネルギー庁「令和 5 年度 系統用蓄電池等導入支援事業」の採択を受けております。

NTT アノードエナジーは今後も蓄電所の開発、保守・運用を通じて、再生可能エネルギーのさらなる普及拡大と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

「石川津幡蓄電所」について



名称	: 石川津幡蓄電所
設置場所	: 石川県河北郡津幡町
電池種類	: リチウムイオン電池
PCS 出力	: 1,999kW
公称容量	: 7,992kWh（一般家庭約 700 世帯分の 1 日の電力使用量に相当）
運転開始	: 2025 年 9 月
事業者	: NTT アノードエナジー株式会社



自社蓄電所の構築状況（2028 年度までに 23 システムを運用開始予定）

●本リリースは、NTT グループが展開する GX ソリューションブランド「NTT G×Inno（エヌティティ ジーノ）」※の取り組みの 1 つです。



URL: <https://group.ntt.jp/group/nttgxinno/>

※「NTT G×Inno」は、NTT 株式会社の登録商標です。

「NTT GX（Green Transformation）× Innovation」の略称であり、社会へのソリューション提供を通じて GX 分野で Innovation(変革)をおこし、2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献していく取り組みです。

以 上